



壬生寺大念仏堂附脇門 修理前 外観

⑧ ^{みぶでらだいねんぶつどう}壬生寺大念仏堂 ^{きょうげんぶたい}(狂言舞台) ^{つけたりわきもん}附脇門 重文

京都市中京区

〈屋根葺替・部分修理〉

安政3年(1856)

壬生寺は正暦^{しょうりやく}2年(991)開創され、鎌倉前期に現在地へ移転されました。大念仏堂は、当時に古くから伝わる壬生狂言を演じる建物です。幾度かの焼失後現在の位置に移り、安政^{あんせい}3年(1856)に再建されました。脇門は、演者が狂言堂に出入りするための、狂言堂西側の土堀に囲まれた一郭に建つ簡素な腕木門です。今回の修理では、不同沈下が著しい基礎部分を本来の高さに復旧する工事を行います。